

平成26年度 第1回米子市の歌選考委員会議事録（概要）

1. 開催日時 平成26年7月25日（金）午前10時開会 午前11時35分閉会
2. 開催場所 米子市役所 4階401会議室
3. 出席者
○選考委員 7名（五十音順・敬称略）
木下晶夫、小谷幸久、田中秀明、藤井浩基、古瀬美保子、本田祐美子、八幡忠義
○事務局 4名 上村総務部長、土井総務管財課長、永瀬課長補佐、坂本主任
4. 会議日程（1）開会
（2）委員紹介及び委嘱状交付
（3）市長あいさつ
（4）正副委員長互選・正副委員長あいさつ
（5）議事
 - ・米子市の歌選考委員会の運営方法について
 - ・米子市の歌の制定について
 - ・米子市の歌の応募状況について
 - ・米子市の歌（歌詞）の選考基準及び選考方法について
（6）その他

（開会）

○事務局（課長）

それでは時間となりましたので、始めさせていただきます。皆様、おはようございます。お忙しい中、また暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから、第1回米子市の歌選考委員会を開催いたします。私は、総務部総務管財課、課長の土井と申します。委員長が決まりますまでお手元にお配りしております日程に従いまして、会議の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

（委員紹介）

○事務局（課長）

まず、委員にご就任いただきました皆様方をご紹介申し上げます。お配りしております日程の裏面に委員名簿がありますので、ご確認ください。

<名簿に従い、五十音順に委員を紹介>

以上、8名の委員の皆様でございます。なお、勝手ではございますが、皆様の席次につきましては、五十音順で決めさせていただいておりますので、ご了承ください。

（委嘱状交付）

○事務局（課長）

続きまして、委嘱状交付に移ります。ご案内のとおり、委員委嘱はすでに平成26年7月3日付けで行わせていただいておりますが、本日は、市長から委嘱状の交付をさせていただきます。お手数ですが、市長がお席の方にまいりましたら、その場でお立ちいただき、委嘱状をお受け取りください。

<市長により委嘱状交付>

（市長あいさつ）

○事務局（課長）

続きまして、市長がごあいさつを申し上げます。

○市長

皆さん、おはようございます。このたびは、米子市の歌選考委員会の委員をお引き受けいただきまして本当にありがとうございます。ご承知のとおり、旧米子市・旧淀江町が平成17年3月31日、今から9年ちょっと前に合併をいたしまして、来年の3月31日に10周年を迎えることになります。合併する前には、お手元の資料にもありますが、旧米子市の歌、旧淀江町の歌というものがあったのですが、合併協議会また、その後の市章や米子市の花などを決める選考会では、市の歌が決まらなくて、歌については合併してから数年経った後の記念するようなときがあればそのとき作ろうではないかということになっておりました。9年ちょっとの間、米子市の歌というのは存在してないということできていたわけであります。来年の3月31日に10周年を迎えることになりまして、記念式典を予定しております。10年経ちますので、歌を作ろうではないかということで計画をいたしまして、この選考委員会の皆様方をお願いすることになったわけでございます。後で選考の要領等につきましては、事務局の方から説明させますけど、今、全国公募をしております、その中から皆様方に選んでいただきまして、そして、また、作曲の方は、歌詞を決めてから作曲をしたいということで名のりをあげていただいている方に作曲をしていただいて、米子市の歌の候補を作るという作業をしたいと思っているところでございます。非常に短期間で、また、お忙しい中お願いすることになって非常に恐縮ではありますけれども、ふるさと米子を代表できるようなそしてまた、歴史・文化・自然・生業いろいろな米子市のいいところがあると思うんですけど、そういうところを見据えながら、みんなが歌って、引き継いで、歌いつないでいけるような歌を是非とも作りたいと思っているところでございます。また、それが米子市の元気の源にもなるんじゃないかとおります。ということで皆様方にはたいへん短い期間でお世話になることになりましたけど、どうぞよろしくお願いいたします。歌詞の応募は、もう締め切っているんですけど、作曲したいという方の方はまだ締め切っておりません。これからも増えるかもしれませんけれども、それなりの数は出てきておりますので、選考していただける対象にはなるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。米子市をこれからも元気にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。どうもありがとうございます。

（事務局紹介）

○事務局（課長）

続きまして、日程にはございませんが、本日出席しております事務局職員を紹介させていただきます。

＜上村総務部長、土井総務管財課長、永瀬課長補佐、坂本主任 自己紹介＞

（正副委員長互選）

○事務局（課長）

それでは日程に戻りまして、委員長及び副委員長の選出を行いたいと存じます。正副委員長の互選の方法につきまして、どなたか案をお持ちでしたらお願いします。

○田中委員

なかなか出ないんじゃないかと思いますが、事務局の方で案をお持ちではないでしょうか。

○事務局（課長）

事務局案をということでしたが、皆さん事務局案を提案させていただいてもよろしいでしょうか。それでは担当の永瀬課長補佐より事務局案を提案させていただきます。

○事務局（永瀬課長補佐）

失礼します。そうしますと、事務局より口頭ではございますけど、提案させていただきます。まず、委員長は鳥取県西部合唱連合の木下様にぜひお願いできたらと思います。また、副委員長は米子市文化協議会の小谷様にお願いしたらどうかと考えております。以上です。

○事務局（課長）

ただいま正副委員長について事務局案を提案させていただきましたが、皆さんいかがでしょうか。＜拍手＞

ありがとうございました。それでは、委員長を鳥取県西部合唱連合理事長の木下晶夫様、副委員長に米子市文化協議会会長の小谷幸久様にお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、木下委員長さんと小谷副委員長さん、中央の席に着いていただきますようお願いいたします。

（正副委員長あいさつ）

○事務局（課長）

それでは、ただ今選任されました木下委員長、小谷副委員長から、ごあいさつを賜りたいと存じますので、よろしくお願いします。まず、木下委員長からお願いいたします。

○木下委員長

失礼します。ご指名ですので、責を全うするようにしたいと思います。いい歌が生まれますよ

うに皆さんでいい会にして仲良くやっていって、互選していい歌ができますように努力したいと思います。よろしくお願いします。

○小谷副委員長

副委員長ということで、微力ですけども、務めさせていただきたいと思います。今聞きましたら、歌詞が63、作曲が45ぐらいあるということで、非常にたいへんな作業だと思いながら、聞かせていただきました。いい歌を選んでみんなで歌っていただけるような曲を選考したいと思います。よろしくお願いします。

<休憩・市長退席>

<会議再開>

<委員自己紹介>

(議事)

○木下委員長

それでは、議事に入りたいと思います。まず、議事の1番目として、この選考委員会の運営方法について協議を行いたいと思います。事務局から提案があるようですので、事務局から説明をお願いします。

○事務局（永瀬課長補佐）

<資料3「米子市の歌選考委員会の運営方法について」説明>

○木下委員長

委員の皆さん、何かご意見があればどうぞ。

特に異論がなければ、ただ今説明があったとおりの方法で、本選考委員会を運営していきたいと思いますので、皆さんご了解ください。

○木下委員長

次に議事の2番目の「米子市の歌の制定について」と議事の3番目の「米子市の歌の応募状況について」を一括して事務局から説明してください。

○事務局（永瀬課長補佐）

<資料4「米子市の歌の制定について」、資料5「米子市の歌の応募状況について」説明>

○木下委員長

皆さん、ご質問、ご意見ありますでしょうか。

○古瀬委員

作曲者の登録45作品とありますが、作品が応募されているのですか？

○事務局（永瀬課長補佐）

今回の募集の方法は、歌詞が決まってから、あらかじめ作曲したいと登録された方にその決まった詞の情報をお送りして、さらに改めて応募していただくという形を考えておりますので、今の段階では45人の方が作曲したいというふうに応募していただいたところまでです。作品は応募されておられません。

○古瀬委員

作曲者の登録は45人ですね。

○事務局（永瀬課長補佐）

申し訳ございません。表現が誤っておりますので、資料の訂正をお願いしたいと思います。

○木下委員長

歌詞が決まってから、その45人の登録の作曲者が曲をつけるということですね。

○事務局（永瀬課長補佐）

そうです。資料の訂正は、具体的に言いますと、資料5の作曲者の登録は45作品ではなくて、45人の方ということでよろしくお願いします。

○本田委員

年内に曲が決まる、今から63作品に目を通して、作詞を選んで、それから曲を選考して、年内にやって、それをオーケストラバージョンにする、歌は混声合唱にする、それを練習する、それで3月31日に披露する、というのは無理でしょう。とても無理ですね。ピアノソロと独唱ならなんとかあるんじゃないかという気がしますけど、例えば、オーケストラでするのは・・・無理でしょう。

○事務局（永瀬課長補佐）

お答えさせていただきます。今言われますとおり、かなりこの日程では苦しいものでございます。我々も必然的に可能なスケジュールを今後、考えていかないといけないということで、今若干、触れられましたが、歌唱の披露は、今のところピアノ伴奏による独唱ということが妥当ではないかと、あるいは合唱を当日披露するにしても、斉唱といいますかそういったものでお願いするのが精一杯なのかなというふうに考えているところでございます。

○本田委員

それと、45名の作曲者の方は、3つの作品、最優秀作品と優秀作品2つのどれにも曲をつけるのか、それとも、最優秀作品だけに曲をつけるのかお聞きしたいと思います。

○事務局（永瀬課長補佐）

お答えいたします。最優秀作品の米子市の歌の歌詞の候補になったものだけに曲をつけていただいて応募いただければと考えております。

○木下委員長

米子に長く住んでいるんですけど、米子市の歌は歌ったことがないし、あるということも知らなかったんで、こんな関係者でさえそうなんですけど、知っておられましたか？

○小谷副委員長

高木東六さんの。知っています。

○木下委員長

これからいい歌詞を選んで、いい曲歌いやすい曲を選ばせていただいて歌っていただけるように、僕らも、できるだけ素人の人も歌いやすい歌を選考していこうじゃありませんか。

○事務局（永瀬課長補佐）

そこで提案なんですけど、今日は、旧米子市の歌、旧淀江町の歌のテープを用意しておりまして、折角ですので、皆さんで聞いてみてはいかがでしょうか。

○藤井委員

その件に関して、旧米子市の歌・旧淀江町の歌というのを話題にいただきましたので、お話し上げたいと思いますが、旧米子市の歌は高木東六先生の作曲ということで、昭和42年に制定されたということなんですけど、私今回メンバーに加えていただいたということで、恐縮すると同時にちょっとジレンマもありました。事務局の方にはお話をしたんですが、高木東六先生は米子出身で市民栄光賞も受賞されておられますし、米子から数少ない日本の音楽シーンに名が残る方でいらっしゃいます。高木先生の作られた曲に関しまして研究しておりますけど、今回米子市の歌を新しく制定するというのは時代の流れであって、これまでの歌はなかなか周知されていないという面はあることを認識しておりますが、ここで大変ビッグネームの方の一種の文化財のようなもので。ちなみに高木東六先生を名誉市民にしている長野県の伊那市は市町村合併のときに、旧伊那市の歌は高木先生の作曲ですが、それをそのまま残すということにしたそうです。そういうやり方もあるなと思いながら、私も募集の経過をみておりました。新しく作ることが決まったわけですので、それはそれでベストな曲を選んでいくということに専念したいと思いますけれど、一方で今後、旧米子市の歌をどのような形で残していくのかがいいのかわかりませんが、やはり文

化財としての価値を後世に残していくというような何らかの手立てを考えていく必要があるんじゃないかなと思っています。今年、高木東六先生が生誕110年を迎えられまして、7月2日でしたけれど、横浜で非常に盛大な記念のコンサートがありました。私も高木東六先生のご遺族の方に招待いただいて行ってきましたけれど、米子市の話題にもなりまして、米子市の歌も変わるということを伝えましたところ、高木東六先生のお嬢様ですけど、時代の流れで仕方がないわねとおっしゃっておられましたが、事務所の関係者の方々は非常に残念がっておられました。「いい歌を残したんだけど」とおっしゃっておられました。ここで議論すべきことではないかもしれませんが、今後、歌の普及に向けた取り組みの一環として、裏番組として残していくというような手立てを模索していけたらなと思っています。是非またご協力をお願いいたします。

○本田委員

旧米子市の歌の演奏者、歌唱者はどなたですか？

○事務局（課長）

業者に依頼したものでわかりません。

<旧米子市の歌・旧淀江町の歌を聴く>

○木下委員長

他にございますか。

○小谷副委員長

最優秀作品と優秀作品の3作品に曲をつけますか。

○事務局（永瀬課長補佐）

先ほどもご説明しましたが、最優秀作品の米子市の歌の歌詞の候補になったものだけに曲をつけていただきます。

○木下委員長

他にございますか。なければ、次の議事の4番目の「米子市の歌・歌詞の選考基準及び選考方法について」協議を行いたいと思います。事務局から提案があるようですので、事務局から説明をお願いします。

○事務局（永瀬課長補佐）

<資料6「米子市の歌（歌詞）の選考基準及び選考方法について」説明>

※なお、募集要項の規定に反するものが2件あり、選考対象となる応募作品は61作品である旨を説明

○木下委員長

皆さん、ご質問、ご意見ありますでしょうか。

○古瀬委員

確認ですが、事前選考の後のことですが、話し合いとかという意見交換の場というのはありますか？

○事務局（永瀬課長補佐）

第2回の会議では、投票方法を決めていただくのはもちろんですが、12ページの投票方法の例のBの①をご覧くださいと思いますが、「委員長は、投票に先立ち、各委員が特に優秀であると評価した作品について意見を聴く。」ということを書かせていただいて、こういったことも含めまして、必ず投票の前には意見の交換の場を設けるべきではないかなというふうには思っております。これも次回、事務局から議事の提案をさせていただくときに、あらかじめ委員長さんと相談させてもらって、ぜひ盛り込んではどうかなと考えているところです。

○古瀬委員

それに関して、やはり話し合いというのをしないと、各自が好きなものを出して、それで投票みたいな形なのは、とても不安ですし、よくないと思いますので、もっと意見交換の時間というか自由にいろんなことを話し合って、相手の意見とかいろんな人の考え方がお互いにわかって、その上での投票となるような形にさせていただけたらと思うのが一つと、失格事由のところのすでに集まってる詞を、失格事由に当たらないような同じような作品がないかというのを見られたという話ですかね・・・。

○事務局（永瀬課長補佐）

今説明させていただいた失格事由の（5）（6）のことだと思うんですけど、明らかにという部分ではないのかなと思っているんですけど、これは業者の方々、著作権管理に関して詳しい方とお話をさせていただきましたけど、どのような手段を講じても最終的にはこれを完璧にチェックすることは容易ではない、けれども、これを回避する方法としては、例えば特に作詞の場合は、補作ということを講じて米子市の歌としてのオリジナル性を出して、なるべく著作権そういったものが触れないようにしていく措置を講じられたらどうでしょうというご意見はいただきまして、その辺のことを事務局としてもっと最終的には責任を持ってやっていかないといけないというふうに考えております。

○古瀬委員

過去にも私もかわった審査のときに、当然大丈夫と思われたものが後になってよく似たものが出てきて、それはあまり歌わないようにしようというようなこともあったりしましたので、できるだけその今ある市町村、都道府県の歌というのぐらひはぜひ網羅して調べていただきたいな

と思うんですけど・・・お願いします。

○事務局（永瀬課長補佐）

市の方で責任持って考えたいと思うんですけど、すべてのものを直接比較検討できるのかどうかは別としまして、市町村歌について選定支援されている業者さんと今お話をずっとさせていただいておりますので、その辺の支援を得られないかなというふうなところを今、検討をしているところでございます。

○藤井委員

2点お伺いします。今おっしゃいました歌の制定にかかわって支援される業者さんというのは、ちょっとイメージがつかめないのですが、教えていただけますでしょうか？もう一つは、(5)(6)に関しては、今、古瀬先生がおっしゃったように、本当に非常に難しく、それから曲の方でも把握しておられますように本当に大変で、キャッチできないものというのが。また、それからすぐその段階ではわからなくても、後になってからわかったりとかということもあったり、考えていかなければならないということで、私たちもそういう点についてはかなりアンテナを張って網羅していかなければいけないなと思っております。最近、去年だったと思いますが、全国の県歌・市歌までだったと思いますが、それが全部載っている分厚い本があったかと思います。米子市の歌は載っていませんでした。空白の10年だったからかもしれませんでしょうけれど、倉吉とか鳥取は載っていたような気がします。それが去年だったと思いますので、私もチェックしたいと思いますが、是非そういうものと照らし合わせられたりしたらいいんじゃないかなと思います。質問は、その業者さんイメージのことだけです。

○事務局（永瀬課長補佐）

情報ありがとうございます。業者の方ですけど、今のところは正式な契約をしているわけではございませんので、関西方面の多数市町村歌を手がけられている業者さんというところまでとどめておきたいと思います。

○木下委員長

歌詞を決めるということは大変難しく、決まらない場合も・・・という感じがするんですけど、61作品の中から選ぶということになると、大変難しいことになるのではないかなとちょっと危惧するんですけども、ここはよく話し合っていないと、大変難しいのではないかなと僕自体は思っています。先ほど、古瀬委員が言われたように、話し合いをよくしないと大変難しいものですので、委員の中でしっかりと話し合いをしましょうね。

○本田委員

私たちは、61作品を選考するわけですけど、45名の作曲者、登録された方がインスピレーションをもって、この詞だったらいい曲ができそうというようなことがなきにしもあらず・・・で

も、最優秀作品1作品が決まるまでは見せられないものなんですよ。

○事務局（永瀬課長補佐）

今のお考えは、例えばすべての応募作品を作曲者の方々が見れるということができる環境を作った歌詞だったら、自分はこういった歌を作るぞみたいな形の応募があって、結果的に歌詞と曲の組み合わせの作品から、最終的に米子市の歌を選ぶということもあり得るという話と理解してよろしいですか？そういう形もあろうかと思いましたが、米子市の歌は、まず歌詞を先に決めてという形をとらせていただきましたので、こういった形で進めさせていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○木下委員長

何か決めてしまわないと前には進めないで、本田委員が言われることはわかる気がしますが、すべての作曲者に見せるというのはちょっと難しいと思います。

○木下委員長

その他、何かございますか。

なければ、次に進めさせていただきます。これで日程にある議事は終了ですが、事務局から何か他に議事はありますか。

○事務局（永瀬課長補佐）

先ほど決定いただきました歌詞の選考基準と選考方法に基づきまして、各委員さんをお願いする事前選考、この準備が本日でできております。お持ち帰りいただきたいと思いますので、お帰りの際にお渡ししますが、ご依頼の概要につきまして、ただ今お配りする文書を説明させていただきます。

<歌詞事前選考について説明>

○木下委員長

ただ今、事務局から歌詞の委員事前審査の依頼について説明がありました。皆さん、何かご質問はありますか。なければ、委員の皆さん、事前審査を慎重によろしくお願いします。

（その他）

○木下委員長

以上で議事を終了します。次にその他に移りますが、事務局から連絡等ありますでしょうか。あればお願いします。

○事務局（永瀬課長補佐）

2点ほどご連絡とお願いがあります。次回第2回は、先ほど8月4日までに事前選考をお願いしましたが、それが終わったあとこちらで集計をしまして、なるべく8月の早い時期に開催したいと考えております。お手元に、次回会議の日程調整表をお配りしております。これにご予定を記載していただきまして、返信用封筒により返送をお願いいたします。なお、メールアドレスをご連絡いただいております委員さんには、後ほど同内容のメールをさせていただきますので、メールで回答いただいても結構です。日程調整でき次第、またご案内をさせていただきます。2点目は、先日、委員報酬の口座振込依頼書のご提出をお願いしておりますが、本日ご用意いただいた方は、後ほど事務局までご提出ください。以上でございます。

○木下委員長

今回は、8月の早い時期に第2回目の会議を開催したいと思います。

その他、皆さんから何かございますか。

他になければ、以上をもちまして選考委員会を終了いたします。本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

（閉会）